

国連水会議 2023

サイドイベント

Pathway Forward:

アジア・太平洋地域における耐水性、持続可能性、包括性

2023 年 3 月 22 日

国連本部 Trusteeship 室

アジア太平洋地域は COVID パンデミックから回復しており、ダイナミックな経済変革の状態に戻りつつあります。しかしまだ、この地域は SDG 6 の目標を含む 2030 国連 SDGs を達成するために、追いつく必要があります。課題は明確です：

- ・この地域は主な炭素排出者であり、特に主要経済において温室効果ガスの排出は増え続けています。

- ・この地域は世界において最も自然災害に見舞われており、激しい豪雨の頻度、強度、期間が増えて大部分の地域を襲うだけでなく、深刻な人命の損失やインフラの損傷につながっています。また、パンデミックは、生態系と生物多様性を保護・保全するための資源の流通を妨げ、劇的に混乱させました。

18 カ国のアジア太平洋地域の首脳が 2022 年 4 月の第 4 回アジア太平洋水サミットに参加し、これらの課題に取り組むため、熊本宣言を採択しました。首脳たちは、質の高いインフラの開発を強化して、ハードとソフトの構成をデータ・情報とガバナンスなどのソリューションに統合し、財政ギャップを埋めることを決意しています。

実現を加速するため、このサイドイベントでは、アジア太平洋地域の代表者が、気候変動に対する回復力と社会経済的安全を強化するための政策、投資、パートナーシップの決定を通じて、水を品質志向の社会の中心に据える方法を紹介します。

▶パートナー機関：

- ・ 日本国 国土交通省
- ・ 内閣官房水循環政策本部事務局
- ・ タジキスタン政府
- ・ アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）
- ・ ユネスコ北京地方事務所
- ・ 国連ハビタット
- ・ アジア開発銀行
- ・ アジア太平洋水フォーラム（APWF）／日本水フォーラム
- ・ アラル海救済国際基金理事会（EC-IFAS）
- ・ 国際水パートナーシップ（GWP）東南アジア
- ・ 国際水管理研究所（IWMI）

セッションの議題：

1分	セッション導入 アジア・太平洋水フォーラム事務局／ 日本水フォーラム チーフマネージャー アサヤマ ユミコ氏
2分	開会のことば 熊本市／第4回アジア太平洋水サミット開催都市 大西 一史 市長
30分	アジア太平洋地域の複数の政府及びアジア開発銀行によるプレゼンテーションの紹介 ・ 日本国政府： 国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課 国際室国際河川技術調整官 時岡 利和氏 ・ タジキスタン政府 ・ インドネシア政府：インドネシア気象地球物理庁長官 ドゥイコリタ・カルナワティ工学教授 ・ 南アジアの国（未定） ・ アジア開発銀行：事務総局長 Woochong Um 司会者：Changhua Wu アジア太平洋水フォーラム理事会 副議長
40分	パネルディスカッション：改善、複製、スケールアップに役立つもの パネリスト： ・ アジア開発銀行：東アジア部 環境・天然資源・農業課 課長 トーマス・パネラ ・ 国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）：環境・開発政策チーフ カティンカ・ワインバーガー

	・ユネスコ：水科学部門、ユネスコ本部（未定） ・国連ハビタット：都市基本サービス課チーフ、国連ハビタット本部 アンドレ・ジクス ・国際水管理研究所（IWMI）：事務局長 マーク・スミス ・水政策グループ／国際水研究所、UNSW：コンサルタント、 アンソニー・スラットヤー ・上記政府代表者 司会者：Changhua Wu アジア太平洋水フォーラム理事会 副議長
2分	まとめ及び閉会のことば Changhua Wu アジア太平洋水フォーラム理事会 副議長

セッションパートナーの水アクションアジェンダ

- ▶日本政府：熊本水イニシアティブ - 気候変動への適応・緩和策と人々の基本的な生活環境の改善策の両方を推進